



下水料金値上げに反対 建設委員会討論

松原のりかず 11月議会建設委員会(12・10)での討論要旨

第127号議案(個人を識別するための番号の利用・・・)

マイナンバー関連であり、議案に反対します。

(個人情報管理に関する、国家管理等への市民の不安が大きく報道され、市民の関心拡大が表面化してきました。今日、情報セキュリティのシステム確立が不十分の指摘の声も大きくなりました。)

第135号議案(レンタサイクル関連)

自転車貸し業としてのレンタサイクルは、商工観光部へ業務を異動し、今後、都市建設としては自転車道路整備をはじめとしたハード面に力を注がれることを要望し議案には賛成します。(現状、利用者の約半分は観光客。熊本市は利用者の70%が観光客で、全国的な傾向。)

第148号議案(下水道拡張関連)

「本来業務を超えて事業拡大をする事が、市民の下水道料金を中心として経営する公営企業の経営を圧迫し、結果が新たな下水道料金値上げにつながる事。」を強く要望し、議案には賛成します。

第149号議案(下水料金の値上げ関連) 値上げに反対した!

本年11月2日に出された岐阜市公営企業経営審議会「下水料金のあり方についての答申」を受けて下水道料金平均10.24%の引き上げが提案されています。

この答申文には、以下の文書が含まれています。すなわち

「なお、下水道事業の公共的な側面や下水道事業の一環として展開されているりん回収事業は、環境政策的な側面を持つことから、財政的な安定を求めるのであれば、事業運営の財源を受益者負担のみに求めるのではなく、一般会計に対して財政負担を求める等の政策的な努力を事業者側も行なうことを求めるものである。」

答申の内容は料金値上げだけでなく、財政面での一般会計からの支援を行なうべきであり、事業管理者へは一般会計に協力を要求する具体の行動を一体として求める答申となっています。

(裏面へつづく)

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

(表面から)

しかるに、議案質疑で水道部としての一般会計への要求方針について具体的な方針も意思も明確ではありません。答申の「料金値上げ部分」のみ取り上げ、議案提案者に都合の良い解釈を押し通す態度です。

これでは、今後5年間稼働させるとしているりんプラントの赤字を合わせると、レンガプラントからの累積赤字は31億円を超え、これらの汚泥処理に関する政策赤字の結果を市民負担である下水道料金値上げで穴埋めする提案です。

同時に、公営企業経営審議会答申への真摯な態度とは言いがたく、審議会の存在を揺るがす対応と指摘します。

極めて問題のある議案内容と提案態度であり、議案に反対します。

請願第8号 下水料金の値上げ中止を求める請願 値上げ中止に賛成!

願意は妥当であり、賛成します。

(第149号議案での討論と同じ趣旨であり、値上げ中止の請願には賛成。)

家族なみだの訴え 過労死等防止シンポジウム!

12月12日(土)JR岐阜ハートフルGにて参加者約50人で開催。来賓に今井雅人衆議院議員を迎え、県会議員1人、市議会議員8人の参加も頂きました。

厚労省岐阜労働局の佐藤監督課長の講演をはじめ、基調講演には「過労死等防止対策推進法の意義」について岩井弁護士にお願い出来ました。過労死遺族の体験談は伊藤左紀子さん(岐阜市)をはじめ3人のご家族から、当事者の労働実態や裁判経験などを伺うことが出来ました。また、一般参加遺族から岐阜市民病院での自死についてのお話も聞け、シンポジウム意義を確認出来ました。



松原のりかず

☎058-253-2500